

運送業界の健康支援を生きがいに

98 安全衛生委員会をテーマに両輪会開催

■共通の課題は健康

「わいわいわんに話し合える情報交換会があればいいな」との思いで立ち上げた、「健康と安全を推進する協議会(両輪会)」。先日、第13回が終了しました。今回は、「安全衛生委員会の進め方」社内で行う安全の計画と運営について」をテーマに、各社の事例報告と参加者によるグループディスカッションにより、情報交換を行いました。

グループディスカッションでは、①安全衛生委員会を活発にするポイント②運営上困っていること③過去のテーマ④苦労話をざっくばらんにの4項目に絞って議論を交わしていただくことでしたが、参加者からは「参考になることがいっぱい見つかりました」「当社の議事

録を今一度チェックします」産業医問題は共通」など多くの意見や感想をいただきました。

そして、その中でも共通の課題として浮上ったのが、「安全の話は進めやすいが、健康は薄い(進めにくい)」とのコメントが語られるように、「衛生(健康)」がほとんど取り上げられていなかったという問題です。(両輪会の詳細はOCHISのHPをご覧ください)

■急増する健康起因事故

言及するまでもなく、最近の重大事故は、意識消失やSASによる居眠り運転など、ドライバー自身の体調不良が起因して多発しています。今や健康問題なくして、事故防止対策を語ることはできません。ぜひ、安全に偏りがちな安全衛生委員会に

は、健康問題のテーマをしっかりと議題に挙げていただき、実効ある委員会を開催していただきたいと思えます。

例えば、定期健康診断結果に「要精密検査」や「要受診」という判定結果があれば、「必ず受診させて報告を求めろ」というルールを議決することや、その周知徹底方法を話し合うことなどが、それに当たります。

■企業責任が問われるドライバーの健康

中小トラック事業者さんの中には、健康問題をドライバー自身の責任としか捉えていない企業も、いまだに多いのではないのでしょうか。しかし、労働者の健康管理は今や企業責任の時代です。それは最近の重大事故がはつきり語っています。社長さん、もう健康問題に無関心ではいられませんね。職業ドライバーの健康確保は、トラック事業者にとっては使命なのです。

第8回OCHISセミナー(10月18日開催)でもこのテーマで掘り下げます。ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク(OCHIS)
副理事長 作本 貞子
「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
TEL : 06-6965-3666
FAX : 06-6965-5261
東京オフィス TEL : 03-3295-1271
E-mail sakumoto@ochis-net.com
HP <http://sas.ochis-net.jp/>

(今回は9月9日号に掲載)

